

創立25周年祝賀会概況のご報告

平成5年(1993年)に創設された「湘現会」も「平成時代の25年間」を駆け抜けて、新しい元号「令和時代」の記念すべき幕開けとなり、本日、「令和元年5月18日」は、「祝賀会」を挙げるにあたり、誠に輝かしい日程となり、お天道様も、この上もない「五月晴れ」をプレゼントして下さるなど、環境は100%と言っていいぐらいに整いました。

巡り合わせの妙とも言えるのではないのでしょうか? 湘現会旗揚げの2ヶ月後に、お隣の横浜市金沢区に創設された「生涯現役かなざわ会」の、門口代表が来賓として来場され、ご本人も、この25年間トップとして君臨、体験に基づいての、実に含蓄のある祝辞を頂きました。

更には「イタリアン料理講座」の小林先生を含めて、非会員でありながら、永年、「分科会活動」への活動をサポートされ、共に積極的に活動している、5人の方々をお招きしたところ、快くお出でくださいました。

当日の進行は、関係者と打ち合わせの結果、昼食時の「ランチ懇談」を挟んで、午前中を第一部、午後は第二部として取り進めることになり、内容もかなり盛沢山となりました。

限られた時間内で、「いかに皆さんに楽しんでいただけるかを主眼」に知恵を絞ったところ、逆に時間に絞られるようになり、該当者の皆さんにはかなりの負担を強いることになり申し訳ありませんでした。

しかしながら、冒頭の桑原代表の開会あいさつも「簡潔かつ思いを入れた内容」で見事でしたし、宮田顧問、井森前代表のお話しも、中堅会員、新しく入られた会員さんには、非常に判り易い語り口で、流石!大先輩!と「湘現会の流れ」を理解していただけたことと察しております。

アトラクションでは、ピアノ演奏の「山内先生」と、「ハーモニカクラブ」との「初コラボ」も大変息が合って、皆さんも大喜び、かつ齢85歳にして、矍鑠たる姿勢で「花が咲く日は」を謳いあげた「石川陽久さん」には、ヤンヤの拍手で、盛り上がりも半端ではありませんでした。

昼食時には、ここ2回ほど利用している茅ヶ崎の「濱田屋」から、特注お赤飯で、風味も塩味を控えめにしつつ、召し上がっていただきましたが、お口にありましたでしょうか?お聞ききするも、「ダメね」とおっしゃられなかったのがホッとしました。(注:我田引水かもね・・・)

ビールやワイン、お酒など、予算統括の飯田世話人のやりくりもあって、少しばかり贅沢をさせてもらい、「品切れ!お断り!」にはならず、喉を潤してもらったのではないのでしょうか。

午後の部は予定通り、1:30pm開演となり、安田さんご推奨の、「落語が出来るギタリスト 濱乃志隆さん」の「お客さんを楽ませる技(わざ)」には、流石芸人は違うなと唸らせる場面も多く、聞く人によっては「棒腹絶倒(ぼうふくぜっとう)」と言いながら大笑いして、連鎖反動的に周りにも波及、「わっはっは!」「わっはっは!」とあつという間の2時間でした。

最後に、特筆することが「ふたつ」あり、「一つ目」は集合時間までに全員が揃ったこと、「二つ目」は、終了時間が3:35pmと寸分違わずできたことが挙げられ、「やればできる!」と、脳裏に深く刻むことができたのは大きな収穫でした。

「プランニングの立案」は私どもの責任ですが、「皆さんの熱い思い入れ」が「成功の可否」を握っており、今回は、どうにか及第点で幕を閉じたものと確信しています。

会員皆様のご協力を、世話人一同、心から御礼を申し上げます。